イネーブルガーデンコンサート 2026. 7. 11 報告

◆ 主催：札幌国際大学生涯学習センター 園芸療法部門

イネーブルガーデンコンサートは、地域の皆さんへ、音楽を鑑賞しつつ、ガーデンの花や植物を観賞して親しんでもらい、より地域に根ざしたガーデン利用を目指すために毎年開催されています。

【会場はガーデンから一転、雨天時のコンサートへ】

今年度は、残念ながら数日前より雨天が続きました。ガーデンも水を含み、当初は中止を予定していましたが、これまで出演してくれた本学学生サークルをはじめ、ゲストの演奏者も、音楽コンサートとして開催することに快諾くださり、本学の大講堂「創風」にて、コンサートを実施いたしました。

昨年に引き続き、ガーデンコンサートの準備に強力な助っ人となっている科目授業「地域アクティビティ」を受講している学生も大いに活躍！会場設営の他、駐車場誘導のために雨の中を案内に立ってくれました。

傘を片手に 30 人程の地域の皆さんが足を運んでくださり、大講堂でのコンサートを楽しんでくださいました。

【軽音楽サークル】

はじまりは、軽音の payenkiller01。
講堂に響き渡る、力強いサウンド！
雨をものともしないロックな音楽が開始の合図です！

さわやかに歌う、
軽音 2 組目は「夜凪（よるなぎ）」。
出演後は、「楽しかったです。」と
笑顔で会場をあとにされました。

会場の皆さん

【吹奏楽部】

本学学生の吹奏楽部だけではなく、北星学園大学と北海道大学の吹奏楽部の学生による合同演奏。ようこそ、ガーデンコンサートへ。

吹奏楽部だからこそ表現できる、楽曲の持つ繊細さや優雅さ、重厚さ。それぞれのパートにより奏でられると……さすが！大講堂に本格的なクラシック音楽が流れました。

【ピアノ連弾同好会 れんだんず】

「れんだんず？ ですか？聴かせますね。」と、地域の方から評がありました。

中島みゆきの「糸」の他、思いのこもる楽曲が披露され聴く人にも印象的に響いたようです。

それぞれのパートを大切に、思いを込めて弾く姿も合わせて聴く人の心にも残ったのでしょう。

【大島さゆり＆堀澤幸恵】

堀澤さんの得意とされるラテン系クラシック・ジャズも、また、空から流れるような大島さんのフルートが生きる楽曲も、多彩に披露されました。

会場外では小さなご家族が奏者であるお母さんの舞台が終わるのを待ち遠しく過ごしており、コンサートの終わりしな、母に語りかけるお子さんの言葉に、客席から和やかな笑いも起こりました。

来年は青空の下、ガーデンの花や植物の緑を観賞しながら、
演奏者 みなさんの奏でる音楽を聴けるといいですね。

札幌国際大学 生涯学習センター